

2018年度(平成30年度)事業計画書

特定非営利活動法人アジア・アフリカと共に歩む会

1 事業実施の方針

南アフリカ共和国クワズールーナタール州ウグ郡を中心とした途上国の貧窮地域の学校を学校図書、菜園活動、スポーツ・課外活動を支柱に支援することで、そのような地域の将来を担う子どもや若者の学力、技術、生活能力を総合的に高めていく。

学校図書支援活動事業

昨年度の対象校30校のうち、遠隔地域の学校や生徒数の多い学校などを中心に継続支援が必要な対象校を10校に限定し、読み書き強化プログラムを行い、読み書き能力の底上げを図る。他の20校は当会からの支援を卒業し、各校で自立した図書事業をおこなっていく。対象校のうちジュニア・プライマリー(プレスクールから小学校3年)では日本から送る中古の算数セットを利用したバイリンガル算数授業を継続する。また、昨年度のパソコン指導対象校においては、対象校以外であっても月に1、2回は訪問し、活動のモニタリングをする。菜園委員会生徒にパソコン操作を指導し、菜園活動の帳簿や記録を作成させるなど、学校菜園活動と結びつけていく。日本から送られる英語の本は、対象校だけでなく、同地域内の新規校および他地域の学校へも配布する。

農業塾内のリソースセンターでの図書活動を運営、管理し、地元住民による活用を促進していく。

学校およびコミュニティー菜園支援活動事業

昨年度に引き続きコロコロ地域とトフェット地域の2地域を対象に有機農業技術を教えていくが、両地域の間地点にある学校やその生徒たちにも積極的に指導を施すことで、両地域を結び有機農業を地域全体へ普及していく。コロコロ地域にある有機農業塾では、技術や知識を教える他、会計管理、養鶏、食品加工技術等のプログラムも取り入れる。トフェット地域では、地域内の学校を借りて、出張トレーニングコースを設けていく。指導員は、両地域において、コース修了後に塾卒業生の菜園をモニタリングし、指導を行う。特に、採種技術の普及に注力し、両地域における有機農業の根付きを深めていく。また、収穫物を販売し収入を得ている塾卒業生には、販売作物の選択、販売先の開拓等のマーケティング指導をする。農業塾においては、引き続き育苗を行い地元住民に販売することで、地元住民への有機農業の普及を図りながら、塾の将来における自立的運営のための財政基盤を整えていく。

スポーツ・課外活動振興事業

日本では引き続き中古のサッカーボールを収集すると同時に、当事業の意義を伝え広報活動に励む。現地ではサッカーボールを対象校に配布する。また、TAAAサッカーチームと対象校生徒や地域住民とのサッカー交流を行う。TAAA現地スタッフが主導となり、地元で少年サッカーチームを育成し支援していく。

2 事業の実施に関する事項（2018年4月1日 ～ 2019年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額 (千円)
学校図書支援活動事業	<p>基礎教育支援のための学校図書環境改善および読書推進活動</p> <p><u>日本</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の本の収集、梱包、発送作業。 ・ 対象地域の母語のラベルを貼った絵本作成。 ・ 算数セットの収集、梱包、発送作業 ・ 当事業の広報活動 <p><u>南アフリカ共和国</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本から送った本の配布。現地での本の購入と配布。 ● 学校図書室や学級文庫の設置・拡充・環境改善支援。 ● 読み書き能力を高める学習やアクティビティを推進 ● IT支援対象校でパソコン指導を行う。昨年度の対象校にはモニタリング訪問を行う。 ● ジュニアプライマリには算数セットを使ったバイリンガル（英語、ズールー語）算数学習を行う。 ● 図書委員会生徒たちの図書運営スキル強化と自主的な図書推進活動への支援 	<p>日本・南アフリカ共和国ウグ郡 ムタルメ・トカートン・ウムズンベ学区</p>	<p>南ア側 2人 日本側 15人</p>	<p>小・中・高校10校 教師 140人 生徒 4,400人</p> <p>農業塾リソースセンター利用者 (地域住民・教師・生徒) 600人</p> <p>その他(専門学校、他地域の学校等) 3,000人</p>	<p>2,800</p>

<p>学校およびコミュニティ菜園支援活動事業</p>	<p>学校菜園およびコミュニティ菜園における地域環境保全型農業促進指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有機農業基礎トレーニングコースと上級コース（養鶏、食品加工）を実施 ● 地域住民への家庭菜園作りの指導、研修会開催 ● 塾卒業生の家庭・グループ菜園のモニタリング、指導 ● 塾卒業生の収穫物販売の指導、アドバイス ● 保育園菜園、学校菜園の指導、モニタリング ● 対象校生徒たちの家庭菜園の指導、モニタリング。生徒対象の農業塾短期コースを実施 ● 地域住民、塾卒業生、対象校生徒たちへの採種技術指導、採種技術の研修会開催 ● 農業塾での育苗と販売、養鶏。 ● 日本の農業専攻大学生の現地派遣。滞在と交流を通して事業対象者と相互に学び合う。 	<p>南アフリカ共和国ウグ郡ムタルメ・トカートン・ウムズンベ学区</p>	<p>南ア側 5人 日本側 3人</p>	<p>コロコロ地域 中央部家庭約100軒 地域周辺学校7校とその生徒家庭 地域内保育園3園</p> <p>トフェット地域 家庭約100軒 地域周辺学校7校と生徒家庭 地域内保育園2園</p> <p>中間点地域 周辺学校2校とその生徒家庭約30軒</p>	<p>12, 200</p>	
<p>スポーツ・課外活動振興事業</p>	<p><u>日本</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーボール収集、梱包、発送作業。 ・当事業の広報活動 <p><u>南アフリカ共和国</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本から送られてきたサッカーボールを学校に配布 ● サッカー交流試合 ● 地元少年サッカーチームの育成と支援 	<p>日本・南アフリカ共和国ウグ郡ムタルメ・トカートン・ウムズンベ学区</p>	<p>南ア側 3人 日本側 3人</p>	<p>小・中・高10校 生徒の所属する地域チーム</p>	<p>生徒 1,000人</p>	<p>99</p>
<p>合計</p>						<p>15, 099</p>